

東京都立大学附属高等学校同窓会

2013(平成25)年度下期「理事・監事・評議員会議」議事録

日時 2014年6月21日(土) 14時20分～

場所 レストラン「YAKUMO111」(目黒パーシモンホール1階) 出席18名、

会議に入る前に、新任の桜修館中等教育学校・金田喜明校長より挨拶があった。金田校長は、かつて都大附高定時制の最後の教頭を務めたとのことで、「八雲が丘とは縁がある。桜修館でもがんばっていききたい。また、来年の桜修館創立10周年記念事業を成功させたいので、よろしくお願ひしたい」と述べられた。

議案1 2013(平成25)年度上期報告(2013. 10. 1～2014. 4. 30)

① 会報の発行

2014(平成26)年1月15日発行、印刷部数 9,000部

発送部数 同窓会員 8,605部、返送201部

特別会員(恩師) 156部、返送3部

桜修館職員へ配布 100部

前年使用した窓あき封筒の窓が中の印字とずれるなどの問題があり、窓なし封筒を使ったが、今度は中の納入書宛先と封筒の宛名のマッチングに手間取り、郵送が1週間遅れた。

② 名簿の管理 2013年10月1日現在の名簿状況

会員総数14,306名、住所判明者 8,793名、死亡、住所不明 5,513名

(住所判明者の中には、海外在住166名、受け取り拒否22名を含む)

住所不明者が少しずつ増加していることから、住所の調査活動を本格的に行う。

石川常務理事より、理事・評議員を中心に、各期ごとに点検、消息探しを行うことと、その方法について説明。一次締め切りを11月初めとする。

③ 八雲が丘文庫 現在蔵書 151冊

次回の会報で、改めて卒業生の著書、翻訳書の寄贈を要請する。

④ 八雲が丘学友会

2013年11月30日(土) 第15回会合

記念祭、第1回「八雲が丘賞」などの報告

2013年12月11日(水) 学フォーラム

桜修館中等教育学校「学フォーラム」に講師派遣。35期・小幡万里子さん

2014年3月15日(土) 第16回会合

ホームカミング・デー開催提案予告

記念祭幹部(=実行委員会)に「三善晃記念・記念祭歌募集」企画を提案

第2回「八雲が丘賞」候補推薦のお願い

桜修館開校10周年記念事業への協力要請、大学合格実績の報告

2014年6月21日 第17回会合

⑤ 会議・会合

2013年9月25日(水) 第一回「八雲が丘賞」贈呈式

11月1日(金) 会計監査

2014年1月18日(土) 上期「理事・監事・評議員会議」

3月5日(水) 拡大常務理事会

6月21日(土) 下期「理事・監事・評議員会議」

議案2-1 会費の納入状況と財政状況

会費の納入は、3年会費、終身会費合計155万円、予算比で195万円のマイナス、収入合計は160万円。3年目の会費納入がかなり少なかったことは今後の課題。

一方経費は、会報発行関連が220万円、会費収納代行費35万円など計270万円。今期単独収支としては110万円の赤字である。

仮に過去3年間の納入済み3年会費の3分の1を今年度分、納入済み終身会費の18分の1を今年度分と考え、合計額は271万円となり、現在までの今年度の支出とほぼ同額となる。

議案2-2 同窓会費規定改定の件

- ① 同窓会費を年額2000円に改定する。
- ② 改定時期は2016年4月。それまでの間を周知期間とする。
- ③ 2000円に改定すると同時に終身会費は廃止する。
- ④ 周知期間内の終身会費払込は妨げないが、会報へ払込票は同封しない。
- ⑤ 理事会で決定した新会費は、2015年春の総会に諮り確認する。
- ⑥ 2000円に改定した後、早急に銀行自動振り替え方式を導入する。

2000円の根拠は、この3年間で「3年会費」を払い込んでくれた会員約1200人を「会費納入の意思あり会員」と考え、2000円×1200人＝240万円を最低限の会費収入とする、ということ。会活動を円滑、順調に進めるには300～350万円必要なので、1200人を1500人以上に増やしたい。

議案3 会計年度変更の件

現在、同窓会の会計年度は10月～9月であるが、これを4月～3月に改める。

2015年春に開催予定の同窓会総会に諮り決定する。

2013(平成25)年度 2013年10月～2014年9月

2014(平成26)年度 2014年10月～2015年9月

2015(平成27)年度 2015年10月～2016年3月(変則半年)

2016(平成28)年度 2016年4月～2017年3月

議案4 今後の活動計画

① 2014年版・同窓会報の発行

2015年1月15日を目途に発行する。

前期編集委員(8期・須田大春、13期・宍戸迪武、14期・川田秀文、18期・北原久利、21期・根岸之夫、35期・石川恵子)を中心に、編集委員増を図りながら作業をスタートさせる。

② 会員相互の交流、親睦および桜修館との交流事業

ホーム・カミング・デーの開催実現

毎年開催は難しいか。3期あるいは5期合同で3年ないし5年に1回の開催とするか。11, 21, 31期…など縦でまとめるのはどうか。行ってみたくなるような趣向、企画がないと集まらないのではないか。

開催費用の規模をどうするか、4年目以降の会費の納入実績をにらんで会の財政状況の中で計画を具体化し、桜修館に提案していく。

三善晃記念・記念祭歌募集

桜修館学校当局を通じて記念祭幹部(=記念祭実行委員会)に提案中。

講演会、課外授業

現役生対象、卒業生対象の講師派遣制度を用意することはできないか。話を聞いてみたい卒業生のリストを、データベース化したい。

講演会で話を出来る卒業生は、調べれば各期にいると思う。

「學フォーラム」は進路指導の一環だが、現役高校生に対してはこれを拡大して行くのも一法。同窓生に対しては、ホームカミングデーでイベント化するか。

現役生、同窓生の別なくやったほうがいい。

③ 第66回記念祭への参加、出展計画について

開催日が9月6日(土)、7日(日)に変更された。会報での予告と異なるので注意。

同窓会の部屋「八雲が丘の集い」出展は継続

旧制府立以来の資料の展示、過去の写真の掲出

終日DVD放映(「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌集」など)

校歌・学生歌などを歌うイベントは、7日(日)にA棟B棟2階コンコースで開催。

④ 会議予定

2014年7月	2014年版同窓会報・企画編集会議
10月	常務理事会
11月	会計監査
2015年1月	2014年上期「理事・監事・評議員会議」

議案5 その他

事務局に連絡のあった24期の森谷氏に理事就任を要請する。

<以上>